

# 日教組香川 2019. 3



発行所 日教組香川教職員組合  
〒760-0008 高松市中野町15-24  
佐藤ビル1F

TEL 087-802-1640  
FAX 087-802-1642  
URL <http://www.jtu-k.com/>  
E-mail [jtu-kagw@triton.ocn.ne.jp](mailto:jtu-kagw@triton.ocn.ne.jp)

発行人 嶋村太伸  
毎月1日発行

## 自分らしく生きられる学校に



**香教組でもない、  
香教連でもない、  
高教組でもない**



### 全国で一番なかまの多い 日教組香川へ

# LGBTの子どもたちと教職員が 過ごしやすい学校を作ろう!

2月10日(日)、サンポートホール高松で、「LGBTの子どもたちと教職員が過ごしやすい学校をつくろう!!4」を開催しました。

(主催 日教組香川、共催 PROUD香川)

今回は、30名あまりの方に参加していただき、質疑応答やディスカッションを通じて、様々な生き方をしている人たちとつながることの大切さを実感できる集会でした。



講演される岡田さん

この企画も今回で4回目。

今回は、LGBT教職員NET 代表 岡田直毅さんをお迎えし、「悩んで、語って、つながる授業とは? ~自分を生きるためにできること~」をテーマに講演とディスカッションを行いました。

講演では、岡田さんが小学校で実践されている授業を实际にさせていただいたり、LGBTについて授業で取り組む際のポイントをわかりやすく話していただいたりしました。指導案も紹介していただき、学校で実践できる内容でした。

日教組香川では、これからも「LGBTの子どもたちと教職員が過ごしやすい学校」づくりに取り組んでいきます。

なお、岡田さんの指導案が必要でしたら、日教組香川までご連絡ください。

岡田先生が学校の中でカミングアウトし、学級の中でもカミングアウトされようとしているということで驚きました。先生の思いや子どもたちとの関わりの様子をうかがい、特別な授業ではなく日常の取組が重要であると感じました。ネットワークを広げて教職員が自分らしく働ける学校にしていきたいと思いました。

すごく分かりやすく講演して下さりありがとうございました。このような学習会を色々な職種の人に聞いていただきたい。社会全体の問題として考えていくべきだと思いました。

これから何気ない言葉など、常にそのまわりに当事者がいることを考えながら、接していこうと思った。当事者の生の声聞け、大変よかったと思いました。ありがとうございました。

DVDが耳の不自由なLGBTの作品で、少し見て深さを感じました。見ためでわかることとわからないことを考えてよかったです。人を見ためで判断せずに、その人の内面や心を大切に人間を簡単にきずつけないようにしようと思いました。

私は教員ですが、教える側として、正しい情報を子どもたち、周り(保護者、同僚)に教えていくことの必要性を感じました。何げない言葉で傷つけることのないようにしたい。また、子どもたちには、多様な性があること、認めることの大切さをこれから伝えていきたい。

性の多様性について、理解を深めることができました。お話を聞かせていただき、自分が今まで悩んでいた、子どもたちに教えることをためらっていた部分も今後、指導していけると感じました。まだまだ、十分に理解できていないことも多く感じたので、さらに学習していきたいと思います。すべての事を理解することは難しいが、少しずつ学び、広げていくことが大切だと思いました。今日はありがとうございました。

トランスジェンダーの当事者として、教育の現場にいる方なので、リアルに子どもの視点というのが感じられて良かったです。こんな先生が私たちが子どもの頃にいてくれたら、安心感と自分の人生をポジティブに考えられたと思います。カミングアウトした後も、さらに自分らしく先生を続けて欲しいです。

## つながることの大切さ

作江 康治 (三・和光中)

特に印象に残ったことは次の2つです。

1つめは、授業のポイントです。

- ① 目の前に当事者が「いる」と仮定して取り組む
- ② 自分の生き方は自分で決める
- ③ 正しい知識をすべての子どもに伝える
- ④ 同僚や管理職など周りを巻き込みながら取り組む

2つめは、質疑応答で出てきた意見です。「文科省が出した性同一性障害や性的指向・性自認に係る児童・生徒に対するきめ細やかな対応等の実施について(教職員向け)を教職員研修などで教職員全体で共有しているのか」、「児童・生徒に対するサポートの意識は進んでいるが、当事者の教職員へのサポートはどうなっているのか」など私たち教職員がもっと意識すべき内容が提起されました。

今回も質疑応答やディスカッションを通じて、様々な生き方をしている人たちとつながることの大切さを実感できる集会でした。

### 岡田直毅さんとは

大阪府池田市で生まれ育つ。女の子として生を受けた。幼少期から性に違和感を感じ、自分は男の子だと思い続けるも、周りの人たちの言葉や体の変化に違和感を感じた。自分は一体何者なのか、わからないまま自分を素直に表現することも、悩みを言葉にすることもできず、荒れた学校生活を送る。

しかし、中学校で恩師との出会いがきっかけに自分を見つめ直し、性同一性障害という言葉を知り、自分自身と向き合うことができたことから、その恩師のような教師になることをめざし、大阪府小学校教員採用試験を受け、無事合格。現在は男性教員として小学校5年生の子どもたちとともに毎日過ごしている。

人権教育を基盤とする学級経営、性の多様性を伝える授業実践を行なっている。また、LGBT教職員NET(有志団体)の代表をしている。大阪を中心とするLGBT当事者の教員やアライ(LGBTをはじめとする性的マイノリティーの方々を理解して支援する人たちのこと)の教員などと指導案づくりや模擬授業などを行っている。その中で、教職員を中心に講演を行い、学校現場で全ての子どもたちを幸せにするためにできること、一人でも多くの子どもたちが自分を生きることができるよう活動を進めている。



### 第3回人権教育講座

## 部落差別を解消するためには連帯が

また、お話では、香川県で部落差別解消のためにも歩もうとした人々を3人を紹介されました。その人たちがどう生きたのかを学習する授業を考えていかなければならないとし、授業を通して、差別解消への具体的な行動を児童・生徒に示すことができるでしょう。

今回の3連続講座のキーワードは「連帯」でした。「解体新書」では、杉田玄白や寅松の祖父だけでなく、様々な人々がネットワークを組み、解体新書の翻訳に向けて連帯しました。部落差別解消も様々な人たちと「連帯」していかなければ、達成できません。授業を通して、私たち教職員は、児童・生徒たちと「連帯」するとともに、運動団体を始めとする部落差別を解消しようとする人々と「連帯」することが改めて必要です。

#### アンケートから

- 自分の中で固まっている差別に対する固定観念や偏見、部落を低く見る低位性を強調した学

習を知らず知らずにやっていた自分が恥ずかしくなりました。勉強するって大事ななあと思いました。

- 私が小学校の頃に学んだ内容と違って、「本当はこうだったのか」と、新しい視点を知ることができ、とても勉強になりました。またもやもやしていた部分がすっきりと理解することができました。もっと話を聞きたかったです。私もどんどん学んでいかなければならないと感じました。
- 差別解消に主体者として、「連帯」して取り組む、非常に心に響きました。学級経営にも通じる話であると思います。
- あまりにも自分の勉強不足が多く、6年生をはじめとする子どもたちに授業するにあたって、もっともっと知らなければと感じた。お話を聞くことで、わかりやすく、つながりを感じながら学ぶことができた。

2月22日(金)19:00から、第3回人権教育講座が、香川部落解放・人権啓発センターで行われました。今回も約30名の方の参加がありました。

今回は、香川県人権・同和教育研究協議会事務局長山下隆章さんから、「部落史で何を教えるかー小学校社会科教科書を参考にー」というテーマでお話をいただきました。

現在、部落史の研究が大きく進んでいます。その研究の成果は学校現場の「部落史」学習に反映されているのでしょうか。

お話の中で、「部落史」学習の見直しの1つとして、多様な被賤視民の世界を挙げられていました。また、中世から近世にかけて生きた人々の豊かな世界を「部落史」を通して伝えていくことが大切であるとされました。

# 日教組第68次教育研究全国集会 ゆたかな学びの教育実践を

2月1日から3日にかけて、福岡県北九州市内で全国からのべ1万人の参加のもと、第68次教育研究全国集会が開催されました。

1日に行われた全体集会では、日本教職員組合 岡島日教組委員長が主催者を代表してあいさつ「子どもたちから出発するゆたかな学びの教育実践を」を述べました。子どもの貧困、いじめ、差別といった子どもを取り巻く状況についてふまえ、世界における公教育の民営化・商業化が学校現場に及ぼす弊害は、すでに日本においても起こっている。また、教職員の長時間労働という過酷な実態について指摘し、「教職員の勤務環境は、子どもが主体となる学びと表裏一体の関係にあります。」と教職員の働き方改革の必要性について言及しました。

そして、「私たちは、目の前の子どもと向き合い・語り合い、子どもの思いや考えを受け止め、子どもが何を求めているかを大切にしたい教育研究活動、子どもを中心にすえた教育実践をすすめてきました。」とこの教育研究全国集会の意義を再確認しました。

記念講演は、斎藤一久さん（東京学芸大学）が、「憲法改正と教育の未来」と題し講演を行いました。憲法改正をめぐる動向と教育の未来が



全体会での岡島日教組委員長

どうかかわるのか、講演されました。

全体集会終了後、24の分科会にわかれ、624本の教育実践レポートについて共同研究者とともに討議

全国教研は出会いの場であると言われます。

その一つは、レポートと出会い。人権教育の分科会に出ましたが、差別の現実には学びながら、子どもたちとともに歩む実践と出会いました。

二つ目は開催県との出会い。全体会の前のオープニングでの、福岡朝鮮歌舞団と九州朝鮮中高級学校の子どもの舞踊は、福岡に在日コリアンの文化が根付いていることとともに、共生共助の大切さを感じました。

三つ目の出会いは人。今回は、大学時代の同級生であり、地元北

を深めました。

特別分科会では「すべての人に学びの場を～『夜間中学』のこれまでとこれから～」を開催し、夜間中学の歴史、現状、課題などを広く知ってもらおう大切さについて共有しました。

九州市教職員組合の委員長でもある石崎朗との再会。彼は常に被差別の立場の子どもたちとともに歩んできた。そして、多文化の発信者でもある。組合運動もリードしてきた。そんな同志との思いの確認ができた場でもあった。

(高・栗林小 嶋村 太伸)



石崎北九州市教組委員長(右)と嶋村日教組香川委員長

# 日教組インクルーシブ教育討論集会 多文化を認め合える人に

2月16日(土)、東京の日本教育会館で、日教組インクルーシブ教育討論集会が開催され、日教組香川も組合員が参加しました。

今回はテーマを「外国につながる子どもたちをとりまく状況」とし、午前中は、善元幸夫さん（東京学芸大学）からの講演がありました。

午後からのシンポジウムでは、パネリストとして、善元幸夫さんとともに、広瀬義徳さん（関西大学）、大沢朝美さん（横浜市立吉田中学校教諭）、コーディネーターとして田口康明さん（鹿児島県立短期大学）の

4人で、今後「外国につながる子どもたち」の在籍が増えていくことが予想される中、日本語指導のみなら



講演する善元幸夫さん

ず母語・母文化の保障や、さらなる教職員の配置等が重要な課題について論議をすすめました。

### ○参加者の感想から

外国につながる子どもたちの現状を知り、アイデンティティの形成、母語・母文化を尊重しながら日本で生活することの難しさについて考え

させられました。

善元先生とたくさんの外国につながる子どもたちとの出会いについて聞き、凝り固まった頭をほぐしてもらった感じがしました。柔軟な考えをもち、多文化を認め合える一人の人間として、子どもと関わりたいと感じた集会でした。

(日教組香川組合員)



## 日教組人権教育実践交流集會

# むなつき坂をこえよう

## ～差別の現実を学ぶとは～

2月23、24日、奈良で、日教組人権教育実践交流集會が開催されました。

1日目の全体会では、竹平均さん(元日教組人権教育推進委員長、元奈良教組委員長)から、人権教育指針改訂への思いなどについて講演がありました。

その後、4分科会〈憲法・子どもの権利条約と人権教育〉〈部落問題学習〉〈両性の自立と平等をめざす教育〉〈インクルーシブ教育〉で、全国での実践報告がありました。

2日目のフィールドワークでは、「水平社博物館・水平社宣言ゆかりの西光寺」、「強制移転させられた洞村跡地とおおくぼまちづくり館」、「水平社事務所跡地など奈良市内の人権スポット散策」の3つのコースに分かれ、現地学習を深めました。

なお、日教組香川からは、嶋村委員長が、四国ブロックの日教組人権教育推進委員として参加し、分科会



の進行をしました。また、組合員が1名参加しました。

### ○参加者の感想から

都道府県ごとの人権教育の内容や認識の違いはありますが、さまざまな人権課題が自分たちの問題であるという共通認識を前提として、解決に向けて取り組んでいかなければならないことを再認識しました。

フィールドワークでは、奈良の一般的なイメージとは違う、水平社事務所跡や北山十八間戸などの人権ゆかりの地としての奈良への理解を深めることができました。

(日教組香川組合員)

竹平さんの話で今回初めて知ったのは、西光寺の現住職清原隆宣さんと同期で中学校に赴任し、文化祭で岡林信康の「チューリップのアップリケ」を歌ったこと。その後、教え子が二人にかけよってきたこと。あらためて竹平さんの原点を知りました。

また、奈良で語られる「むなつき坂をこえて」では、奈良県の地図をいくらさがしてもこんな坂があるわけではなく、ある女の先生の口から思わずでたことば。学校から部落ま

でいくつもの坂があり、坂をこえたところに、部落がある。むねをつかれて足もなかなかすすまない。しかし歩き続ける。部落のおかれているすがたから足をはなさない奈良の教職員の思いを知ることになりました。(高・栗林小 嶋村 太伸)



「水平社事務所跡地など奈良市内の人権スポット散策」のフィールドワークの中での「北山十八間戸」。

鎌倉時代に創始された、ハンセン病のための療養施設。建物内部を十八間(18の部屋)に区切っていて、患者たちに衣食住の提供が行われていたとのこと。

このような施設が、京と奈良を結ぶ街道沿いにあること自体が驚き。

部屋からは、東大寺が望める。1日の終わりに、夕陽を浴びた東大寺を眺め、祈ったという話を聞く。

## 東部・西部教育事務所交渉

# 「本人の希望はできるだけ尊重しよう努力している」

日教組香川は、2月13日に東部教育事務所と、2月19日に西部教育事務所と、人事異動等に関する交渉を行いました。

東部教育事務所交渉では、日教組香川からは、嶋村日教組香川委員長、角友大川地区教組委員長、岡本高松地区教組委員長他計5名が参加。東部教育事務所からは間嶋所長他5名が対応しました。

また、西部教育事務所交渉では、日教組香川からは、嶋村日教組香川委員長、森川日教組香川副委員長、作江三観地区教組委員長の3名が参加。西部教育事務所からは末澤所長他3名が対応しました。

以下、その概要を報告します。

**日教組香川** 人事異動は教職員の重大な勤務条件の変更であることを確認し、その生活と権利を保障すること。そのため、本人の希望を十分に尊重すること。

**東部教育事務所** 人事異動の基本方針や人事異動の基本的な考え方にに基づき、公平・公正に行う。

**西部教育事務所** 人事異動については、本人の事情等も考慮した上で、市町教育委員会の意見を聞きながら、基本方針と基本的な考え方にに基づき、任命権者の権限と責任において公平・公正に実施するものである。

**日教組香川** 教育諸問題の解決のため、管理職には、以下の条件を備えた人材を登用、配置すること

- ・人物・識見・経営能力等に優れていること。
- ・職員との信頼関係を構築できること。
- ・労務管理等のマネージメント能力があること。
- ・人権・同和教育の実践と人権感覚が卓越してあること。

**東部教育事務所** 要望の趣旨は伝える。

**西部教育事務所** 適格者の登用に努めている。

**日教組香川** 再任用に関して以下の点を考慮すること。

- (1) 希望する定年退職者を、原則すべて再任用教職員として採用すること。

- (2) 再任用教職員の配置に関しては、本人の希望や、能力や経験が活かせる職務への配置を行うこと。

- (3) 再任用教職員の処遇の改善を行うこと。

**東部教育事務所** 要望の趣旨は伝える。

**西部教育事務所** 再任用制度に基づき、適切に実施している。

**日教組香川** 人権・同和教育、いじめ、不登校問題、帰国子女教育、特別支援教育、外国にルーツをもつ子等の指導充実のため適切な人事配置を行うこと。

**東部教育事務所** 要望の趣旨は伝える。

**西部教育事務所** 各学校の課題解決が図られるよう、市町教委との連携を密にし、その意見を踏まえた人事配置に努めている。

**日教組香川** インクルーシブ教育の充実を図るため、小・中学校と特別支援学校との人事交流を積極的に行うこと。また、特別支援学校における人事配置に関しては、障害種別免許をもっているなど、その専門性を十分に考慮すること。

**東部教育事務所** 人事異動の基本方針や人事異動の基本的な考え方にに基づき、公平・公正に行う。

**西部教育事務所** 人事異動については、本人の事情等も考慮した上で、市町教育委員会の意見を聞きながら、基本方針と基本的な考え方にに基づき、任命権者の権限と責任において公平・公正に実施するものである。

**日教組香川** 現在の学校教育に不可欠な臨時採用教職員が、不安定な雇用状況にあることを認識し、継続的な任用に努力すること。また、学校現場に必要な配置ができるよう、雇用条件の改善を行うこと。

**東部教育事務所** 学校の要望に基づいた配置ができるように努めている。

**西部教育事務所** 代替教員については、講師登録などを行い、今後も代替教員の確保に努めていく。雇用条件については、国や他の都道府県の動向等にも留意しながら検討してまいりたい。

### 第25回参議院選挙(2019年夏実施予定)日教組香川推薦

## みずおか俊一はこんな社会をめざします!

### 1 教育 「誰でも学べる社会」

- 家庭の状況によらず、安心して学び続けられる制度の充実にとりくみます。
- 子どもたちにゆたかな学びを保障するため、教職員定数の改善と少人数学級の推進にとりくみます。
- 充実した教育環境を整えるため、教育予算の拡充につとめます。

### 2 暮らし 「安心して働ける社会」

- 教職員が健康で、充実感をもって働くことのできる環境整備をすすめます。
- 臨時・非常勤職員などの処遇改善と雇用の安定にむけた整備につとめます。
- ジェンダー平等の実現、障害者の雇用促進など、一人ひとりが尊重される共生社会を実現します。

### 3 平和 「平和に暮らせる社会」

- 平和・人権、民主主義などの憲法理念が生かされる社会を実現します。
- 原発ゼロの早期実現とクリーンで安全な自然エネルギーの推進にとりくみます。
- 国連の持続可能な開発目標を推進し、すべての人が平和と豊かさを享受できる共生社会を実現します。



プロフィール●1956年兵庫県生まれ。県立豊岡高校から奈良教育大学に進学。兵庫県三木市の公立中学校とニューデリー日本人学校で教職に就く。90年から兵庫県教職員組合に勤務し、04年に参議院議員選挙(兵庫県選挙区)初当選。10年に2期目当選。11年内閣総理大臣補佐官、13年参議院内閣委員長を歴任。  
住所●神戸市 趣味●テニス、スキー、星の写真他

気軽におしゃべり、

## JTU-カフェ開催中

2019年3月14日(木) 18:30~20:00  
日教組香川事務所(高松市中野町15-24 佐藤ビル1F)

相談ごとなどありましたら、お気軽にお越しください。飲み物とお菓子を用意しています。電話やファックスでの相談もできます。なお、日教組香川組合員で無い方も歓迎です。ただし、その場合、お茶代500円をいただきます。

## 職場の悩みや人事異動の相談受け付けます

教職員のためだけの共済だから

校舎内の廊下・階段でのケガに手厚い!

校舎内の廊下・階段でのケガは『一般傷害』よりも補償額の大きい『交通災害』として扱います。

たとえば、ケガにより通院した場合…

『個人型・安心コース(5口)』の補償額		通院
一般傷害なら	交通災害なら	
1日あたり 1,000円 (損保補償)	1日あたり 5,000円 (内1,000円は損保補償)	

※90日を限度としてお支払いします。

もちろん、通院以外も手厚く補償!

レスキューズリーの補償内容

家族全員の賠償事故が対象!

死亡 後遺障害 入院 手術 通院 自宅治療 個人賠償

交通災害のみ

ケガ・事故・賠償

## レスキューズリー

交通災害共済

支払事例 校舎内の階段下でのケガ

契約者が、階段から走って降りてきた生徒とぶつかり後ろ向きに転倒。頭と背中を強く打った。

頭部打撲症  
通院2日 10,000円

※個人型・安心コース(5口)ご加入の場合



交通災害認定

契約タイプは【個人型】【家族型】の2タイプ。掛金は加入月によって変わります。お見積りはこちら▶▶



厚生労働省認可

承18-企-06(1805) SJNK18-04333 (2018.07.06)

教職員共済生活協同組合 東四国事業所

〒760-0004 高松市西宝町二丁目6-40 教育会館6階

TEL: 0120-27-8140

### 燃え尽き症候群かも

### カナリア通信

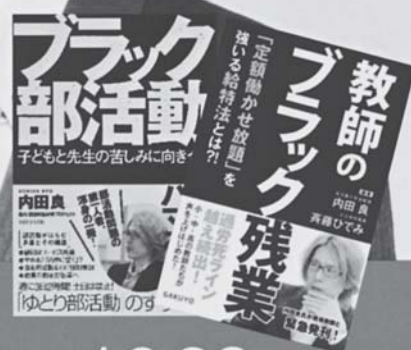
◆「どこまでいっても完成形が見えない」、教師という仕事をして三十数年が経ちましたが、いまだ完璧と思える指導はできません。むしろ体力が落ちていく分パフォーマンスが下がっていると感じます。◆さっさと後進に役を渡して、自分ができることをゆっくりとやりたいのに、昨今の人手不足のために思うように休むことができません◆衰えを感じながら、そこに目をつむって、無理して出来るふりをする。無理をしているとそれなりに出来ることも有るのでまた続けてしまう。少しでも出来ることがあると、退きにくくなってしまいます◆仕事に対しては、ぼちぼち燃え尽きていくと思うので、生きることに対して燃え尽きてしまう前に、あるべき生き方を見つけていきたい、そんなことを考えるこの頃です。

この春  
あの内田良が  
香川に来る!

内田良

名古屋大学大学院  
教育発達科学研究  
科准教授。博士  
(教育学)  
著書に「教師のブ  
ラック残業」(学  
陽書房2018)、  
「ブラック部活  
動」(東洋館出版  
社2017)等

# Special Talk Live



2019/3/29 (金) 13:30~16:30

サンポートホール高松 6階【63会議室】

この殺伐とした「教育県かがわ」の実態から抜け出すためには、どうすれば良いのか？  
何から始めれば良いのか？みんなで話し合いませんか？

## 内田良さんに聞きたいこと 大募集!!

管理職からICカードな  
ど退勤手続きをしてから働く  
ように言われる (⊖)

職員会議や●●団会が勤  
務時間を過ぎても続いたり、  
そもそも過ぎてから始まっ  
たりする (⊖)

あなたの日頃の疑問・悩み  
…直接聞いてみませんか？

聞きたいことはFAX、またはメールで  
FAX 087-802-1642  
E-mail: jtu-kagw@triton.ocn.ne.jp

お問い合わせは  
0120-27-5925  
<http://jtu-k.com/>